



過去の台風被害の様子

9月1日は防災の日 防災に関する情報を紹介

問い合わせ 危機管理課 ☎072(740)1145・✉kawa0010@city.kawanishi.lg.jp

防災ウェブ講座や防災士の資格取得費用の一部助成など
市などの防災情報をお伝えします

9月1日は防災の日です。近年突然の豪雨や台風による被害が全国的に多く発生しています。自分の家族など大切な命を守るためには事前の準備が重要です。台風シーズンの前に3ページに掲載のハザードマップや避難情報を確認し、身の安全を確保するようにしてください。

コロナ禍でも意識を高める 防災ウェブ講座

コロナ禍で人の集まるイベントが自粛傾向の中であつても、市民の皆さんに防災意識を高めてもらうため、Zoomを利用した防災講座を開始します。

防災に興味がある自治会などは、危機管理課へ電話やメールで相談してください。
防災士の資格取得費用の一部を助成

防災士として地域で活躍する人たちを養成するために、講座受講費用の一部を助成します。

対象は、県が開催する「ひょうご防災リーダー講座」や日

本防災士機構が認証した研修機関が実施する「防災士研修講座」を修了後に、防災士資格試験に合格した市民で、防災士登録を申請した人。定員は10人(先着順)です。

フェニックス共済の案内

阪神・淡路大震災の教訓を生かして県が創設した「フェニックス共済」。年額5000円で自然災害による住宅や家財の被害に対し、最大600万円の給付が受けられる基金制度です。

【主な特徴】

- ▼あらゆる自然災害による住宅や家財の被害に対し、再建・補修費用を給付。
- ▼住宅の築年数や規模に関係なく定額負担・定額給付。
- ▼県が条例に基づき実施する安全・安心の制度。

詳しくは、県阪神北県民局フェニックス共済担当 ☎0797(83)3122へ。

大阪府の訓練メールを受信する場合があります

9月3日(金)午後1時半よ

り、大阪府で行われる「大阪府880万人訓練」で、エリアメールや緊急速報メールが配信されます。

大阪府に隣接する本市では、訓練メールを受信(マナーモードでも音が鳴ります)する可能性ががあります。

鳴らないようにするには、設定をオフにするか電源を切る必要があります。

地域の防災活動に活用する機材を整備

川西市自主防災組織連絡協議会は、(一財)自治総合センターのコミュニティ助成(宝くじの社会貢献事業)を利用して、可搬型蓄電システムとポータブルガス発電機を整備しました。

地域の防災活動などで本資機材を活用することで、自主防災組織の活動をより一層充実させ、災害による被害の軽減に効果を発揮することが期待されます。

3年度は2団体と5人が受賞

りんどう賞

問い合わせ 秘書課 ☎072(740)11103

毎年市制記念日の8月1日に、ふるさとづくりのために活躍している個人と団体へ、市民賞「りんどう賞」を贈呈しています。3年度の受賞者は2団体と5人。住民福祉の向上や地域文化、スポーツの振興発展に貢献した功績が受賞につながりました。市長は、日頃の活動への感謝の言葉とともに、「今後もより一層の活躍を期待しています」と受賞者に伝えて、記念品を手渡しました。



【写真上】左から桜小コミュニティ協議会(会長 寶田順子さん)、中央図書館デイズ図書作成ボランティア「ひなぎく」(代表代理 神谷勉子さん)

【写真下】左から中野嗣己さん(清和台西1)、森本晃一さん(清和台西4)、太野垣利彦さん(水明台4)、樽井千愛さん(大和西1)、佐道恵子さん(花屋敷1)

黒川ダリヤ園が9月16日(木)から開園 約1,000株が里山で咲き競う

9月16日(木)から11月3日(木)まで、黒川ダリヤ園が開園します。「雪みかん」や「さくらミルク」といった新品種を加えて、今年は約360品種約1,000株が咲き競います。見頃は10月の見込みです。朝晩が冷え込むと花色もさえ、ひときわ美しさに深みが増します。

開園時間は午前9時～午後4時で、休園日はありません。ダリアは黒川地区の皆さんが育成。入園時には、300円の協力金(高校生以上)をお願いしています。

また、新型コロナウイルス感染予防のため、マスクを着用して来園してください。「にほんの里100選」にも選ばれた里山に咲く色とりどりのダリアをお楽しみください。

問い合わせ 黒川ダリヤ園 ☎072(702)7830



▷川西能勢口駅周辺から車で北へ約40分(専用駐車場あり)
▷能勢電鉄妙見口駅から日曜日・祝日のみ運行の阪急バス(臨時)で黒川ダリヤ園停留所下車すぐ(月～土曜日は阪急バス黒川停留所から徒歩約20分)